



東陽病院 宇野史洋 医師

の津波で大被害を受けた奥尻島の町長さんの「大変ご苦労が多いでしょうが、何卒我慢していただきます」という言葉が印象的でした。「頑張ってください」と話す人が多い中で、「我慢」という言葉には被災

の津波で大被害を受けた奥尻島の町長さんの「大変ご苦労が多いでしょうが、何卒我慢していただきます」という言葉が印象的でした。「頑張ってください」と話す人が多い中で、「我慢」という言葉には被災

合掌

のコメントが寄せられています。先



の医療スタッフと薬品と時間を要します。その反面、一瞬の震災で五千人以上の生命が奪われています。医療の無力さを感じ、やり切れない思いです。そこには、最近論議されているインフォームド・コンセントも尊厳死も安楽死も存在しない、問答無用の非情な「死」があるだけでした。ご冥福をお祈りすると共に、今回の震災を教訓として、行政だけでなく残された人々全員の意識が改まり、次の震災時に生かすことが出来てこそ失われた人々の供養につながると思います。

光町のみなさん、こんにちは。天災は忘れた頃に来て来るとはいいますが、忘れられない、いや忘れてはならない被害になりました。阪神地区の被災者のみなさんには、心よりお見舞い申し上げます。たった20秒間の地面の揺れにより5千人以上の方が亡くなりました。報告によると揺れ幅は15cmに過ぎなかったそうです。人類が築き上げてきた科学も、震災の前にはかなくも無力だったのかと無念さを禁じ得ません。ただ一つ救われる思いは、義援金を始めとして、ボランティア、医療救援等の全国的な支援の輪が広がっていることです。千葉県内の国公立病院でも交代で阪神地区の医療支援を行っており、遅ればせながら東陽病院からも2月17日、21日の5日間、医師・看護婦・薬剤師各1名計3名を派遣し、医療活動を行いました。

経験者としての実感ももっています。被災者はもう頑張らうがないのです。これから先は、仮設住宅や減税等の行政的支援態勢が行き渡るまで耐え忍ぶしかないのです。そんな人々に言葉だけの励ましは空虚に聞こえるでしょう。復興には10年以上かかるということです。明日は我身です。無事だった私たちにできることを考えて実行したいものです。そして、震災に対する意識と備えを再確認したいものです。普段、病院で投薬を受けている人は、その投薬内容と病名をメモして持ち歩くと良いと思います。薬のアレルギーマーカーのある人はその薬品名も。血液型もしかり。震災時の救急医療はまさに戦場のようで、検査もろくに出来ない状況下で緊急輸血等を行わなくてはなりません。これも一つの備えといえるでしょう。一人の患者さんを救うのに、何人も

健康への

メッセーじ

シリーズ16

阪神大震災
再考

今回の震災を教訓に

〈春休み映画会〉太宰 治作品

期日 3月26日(日)
場所 ハイビジョンホール
上映時間 1回目 午前10時～11時50分
2回目 午後1時～2時50分
3回目 午後3時10分～5時
定員 各120人
入場 入場整理券(無料)を3/4(土)から
町立図書館で配布



わたしがすすめる
☆この1冊

「エルマーのぼうけん」

R・S・ガネット作
福音館書店図書館司書
坂本 成生— 町立図書館 —
☎ 3311

ゆうかんな男の子のエルマーは、年をとったのらねこから、どうぶつ島にとらえられているりゅうの子どもの話をききました。エルマーは、リュックサックにチューイングガム、ぼうつきキャンデー、わゴムやリボンをつめて、りゅうを助けに行きました。リュックの中身は思いがけなく役にたち……。このほか「エルマーとりゅう」「エルマーと16びきのりゅう」へと続く。